

大型クラゲ情報

青森県農林水産部水産局水産振興課
八戸・むつ・鱒ヶ沢水産事務所
青森地方水産業改良普及所
(地独)青森県産業技術センター
水産総合研究所

- ・ 県内全域で1,000個以上の入網が続く
- ・ 引き続き相当量の出現が予想される ((独)水産総合研究センター)

(1) 県内の出現状況 (水産振興課・各水産事務所・普及所調べ、11月11日現在)

- ・ 県内各海域の定置網等への入網状況は下表のとおり。
- ・ 日本海では、深浦町全域で1,000個を超える入網が続いています。深浦町の底建網では、網入れした後の最初の網起こし時に多数の入網があり、やむを得ず網を破って排出作業を行っています。
- ・ 太平洋は北部・南部ともに1,000個を超える入網が続いています。八戸市の一部刺網等で、網の設置を見合わせています。
- ・ 津軽海峡東部や陸奥湾湾口部の脇野沢で1,000個以上の入網があります。
- ・ 傘の大きさは県内全域で30cmから150cmと幅があります。

(2) 駆除の状況 (青森県、全漁連、11月12日現在)

- ・ 全漁連では、11月13日 (八戸出港) から12月10日 (新潟港入港) にかけて大型クラゲ沖合域分布調査を実施し、調査前半の約4日間は本県太平洋沖を含む下記の海域で駆除活動を行う予定としています。なお、駆除は、499トンの調査船により大型クラゲ濃密群を魚探で探索し、中層ひき網により行います。
- ・ 地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所では、11月19、20日、日本海で洋上駆除試験を実施する予定です。

表 大型クラゲの出現状況 (定置網等の1ヶ統あたりの入網数)

日/海域	日本海	陸奥湾(湾口部)	海峡東部	太平洋北部	太平洋南部
11月5日	500~1,000以上	400~1,000以上	43~1,000	50~1,000以上	1,000以上
11月6日	111~1,000以上	1,000以上	499~1,000以上	50~1,000以上	20~1,000以上
11月7日	-	-	57~72	300~1,000	20~1,000以上
11月8日	300~1,000以上	-	300	50~1,000以上	-
11月9日	300~1,000以上	-	74~300	900~1,000以上	30~1,000以上
11月10日	500~1,000以上	-	521~695	1,000以上	40~1,000以上
11月11日	-	-	-	-	200

「- (ハイフン)」は時化等により操業なし、又は漁協調査中を表す。

その他

全漁連による洋上駆除活動海域

(以下2点間の周辺海域。本県沖は水深約200m線で実施。)

(1)八戸沖 N40°30 E142°00

(2)北山崎沖 N40°00 E142°10



(3) 出現予測 (独立行政法人水産総合研究センター、11月10日発表)

- ・ 日本海の能登以東海域では、能登以西海域に分布する濃密群が連続的に出現し、今後しばらくは相当量の出現が継続する恐れがあります。
- ・ 太平洋側においても、今後も引き続き相当量の大型クラゲが津軽海峡を經由して流入すると考えられます。